

H E G U R I



K u m a g a s h i m o b i



奈良県平群町

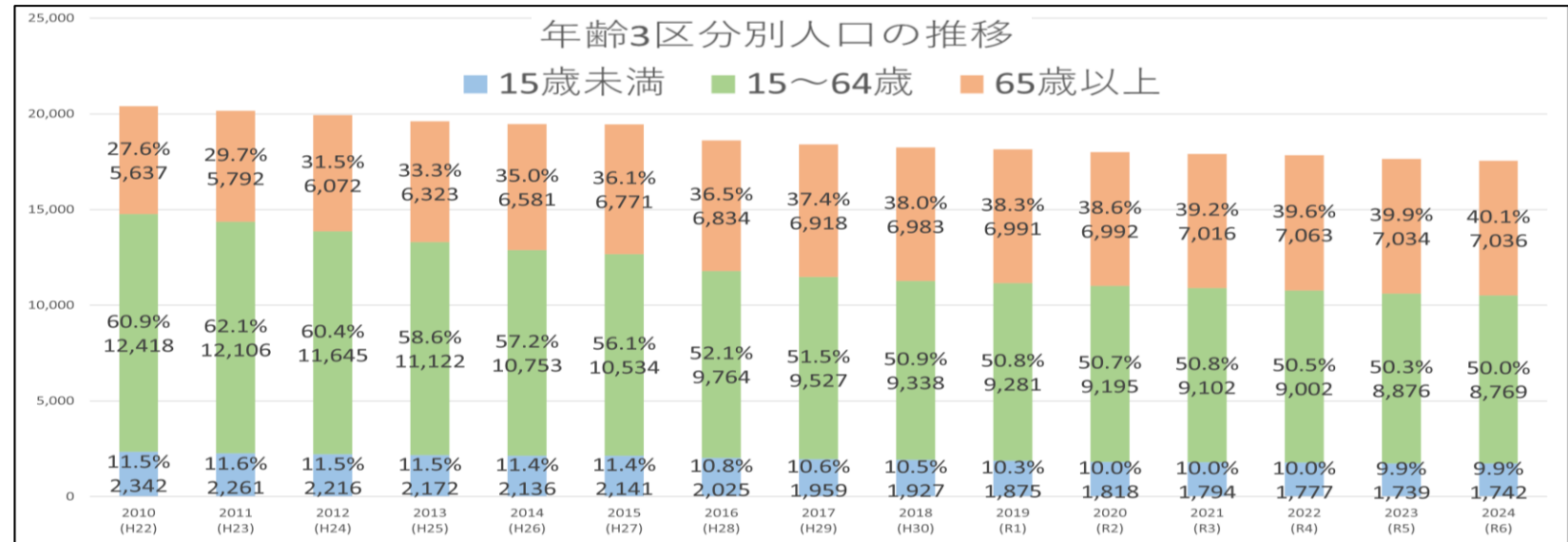
令和8年7月30日

平群町（へぐりちょう）の概要



人口 18,045人 (R7.10)
高齢化率 39.0%
世帯数 8,257世帯
面積 23.9km²
歳出決算額 78億円 (R6年度)
財政力指数 0.41 (R6年度)
実質公債費率 11.5%

奈良県の北西部に位置する美しい山々に囲まれた自然と歴史・農産物に恵まれた谷あいのまちは、昭和40年頃より大阪のベッドタウンとして発展。現在は、少子高齢化が進行しています。



平群町の観光名所・特産品



信貴山朝護孫子寺



イチゴ(古都華)



ブドウ(デラウェア)



バラ(HEGURI ROSE)



平群の小菊

平群町内の公共交通 (R8.7現在)



西山間ルート 南北循環ルート NCバスルート



- ①鉄道 近畿日本鉄道（生駒線） 町内 4 駅
- ②路線バス エヌシーバス（奈良交通グループ）
平群駅より北部地域の住宅地、近鉄元山上口駅、東山駅から 近畿大学奈良病院まで走行
- ③タクシー 令和 2 年に撤退
- ④平群町コミュニティバス
西山間・南北循環ルート 2 ルートで運行
運賃 大人：100円 小人：50円
- ⑤平群町デマンド型乗合タクシー
65歳以上（介護保険第1号被保険者対象）
町内全域及び生駒市内の一部区域（近畿大学奈良病院への往路のみ）
料金 町内：300円、町外：500円

平群町の子育て・教育×交通空白解消によるまちづくり



人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまちへぐりを目指して

住みたい・住み続けたいまちになるため、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを推進するとともに、未来を創り、未来を担う子どもたちを育成する学びを推進します。



平群町と地域の子育て教育の一環を担う総合型地域スポーツクラブ（一般社団法人くまがしクラブ）と連携し、公共交通を補完する事業の一つとして、交通空白解消に向けた交通事業者等との官民共創プラットフォーム『平群町こども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム』に取り組み、子どもの笑顔あふれる誰もが住みたくなるまちづくりに繋がります。



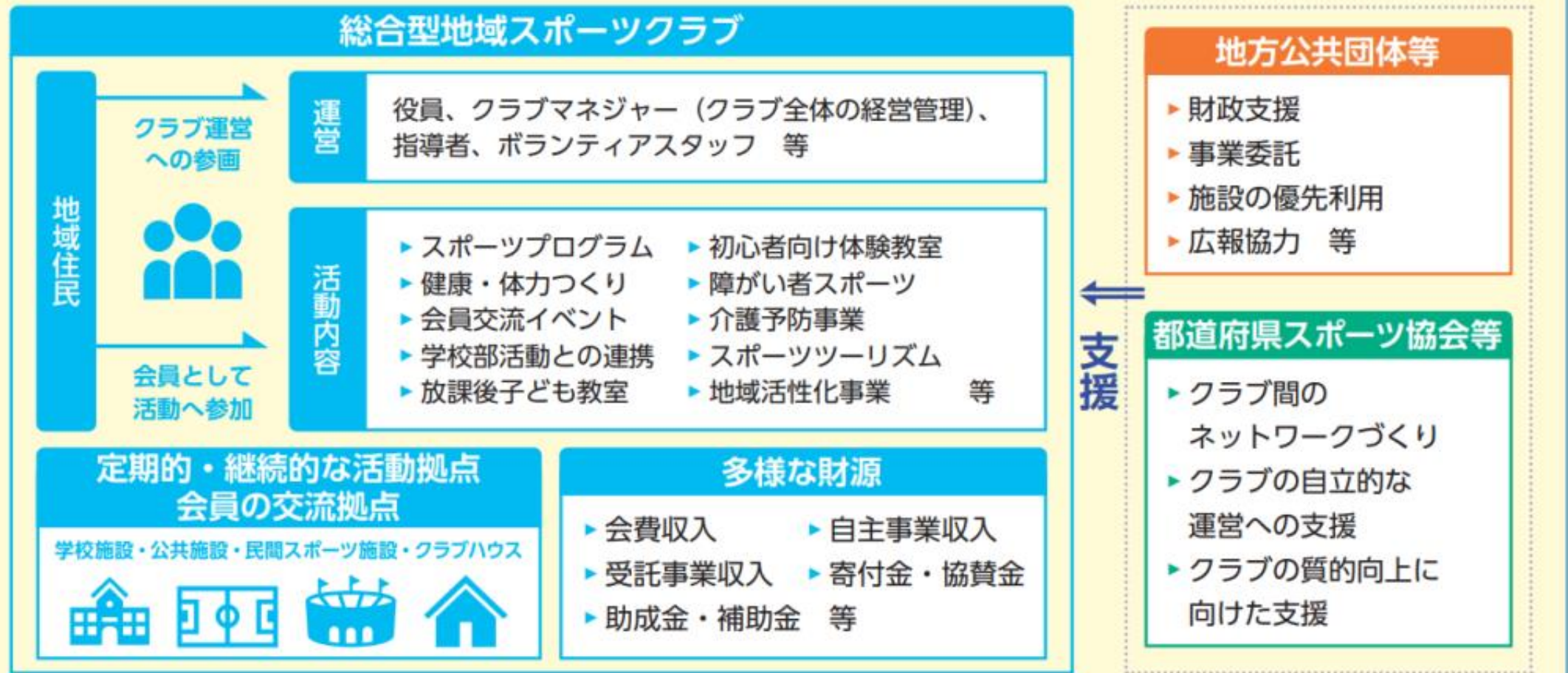
平群町総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人くまがしクラブ



総合型地域スポーツクラブとは？

概要: **多世代**(子どもから高齢者まで)、**多種目**(様々なスポーツを愛好する人々が)、**多志向**(それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる)という形態により、**行政でも民間企業でもなく、地域住民によって、自発的・主体的に運営されているスポーツクラブ。**

総合型地域スポーツクラブの活動 —多様な事業の展開—



総合型地域スポーツクラブ育成の歴史

長い間、国の地域スポーツ政策に位置付けられている

- スポーツ振興基本計画（2001年度～2011年度）
- 第1期スポーツ基本計画（2012年度～2016年度）
- 第2期スポーツ基本計画（2017年度～2021年度）
- 第3期スポーツ基本計画（2022年度～2026年度）
- ※ 第4期スポーツ基本計画（現在策定中）

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第二十一条

国及び地方公共団体は、国民がその興味又は関心に応じて身近にスポーツに親しむことができるよう、**地域スポーツクラブ**が行う地域におけるスポーツの振興のための事業への支援、住民が安全かつ効果的にスポーツを行うための指導者等の配置、住民が快適にスポーツを行い相互に交流を深めることができるスポーツ施設の整備その他の必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

※**地域スポーツクラブ**：住民が主体的に運営するスポーツ団体
（第十七条の二）

第3期スポーツ基本計画

第3章(10)②地域のスポーツ環境の構築（P61）

ウ 国、JSP0及び地方公共団体は、中間支援組織が取り組む**総合型クラブ**の自主的な運営を含む質的充実や地域課題の解決に向けた取組を支援する。

エ 国及びJSP0は、**総合型クラブ**の登録・認証制度を47都道府県で運用開始し、当該制度を通じて、**総合型クラブ**の質的な向上を図るとともに、**総合型クラブ**と地方公共団体等との連携による地域課題の解決に向けた取組を促進する。

一般社団法人くまがしクラブ 育成の歴史

2011年4月	行政主導の下で「設立準備委員会」を設置
2013年3月	「くまがしクラブ」設立
2017年11月	「一般社団法人くまがしクラブ」設立
2023年10月	総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度「登録クラブ」
2025年10月	総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度「認証クラブ」
所在地	奈良県平群町福貴72「平群町総合スポーツセンター」
会員数	652名(令和8年6月末時点)
教室数	75教室(スポーツ・カルチャー教室およびクラブ)
事業 	◇町委託(こどもスポーツ体力向上事業、地域クラブ活動、等)
	◇施設管理(※指定管理 総合スポーツセンター・町内公園施設、等)
	◇補助金(国土交通省・「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開事業)
	◇助成金(日本スポーツ振興センター・ライフスポーツ財団、等)

くまがしクラブ：平群町は自然豊かな歴史の町で、万葉集では倭建命が「たたみごも平群の山のくまがしが…」と詠んだことに由来し、古代より大きな榎の木が多く、大きな榎の木のように地域に根を張り、人々が集う場所としての願いが込められています。

H E G U R I



K u m a g a s h i m o b i



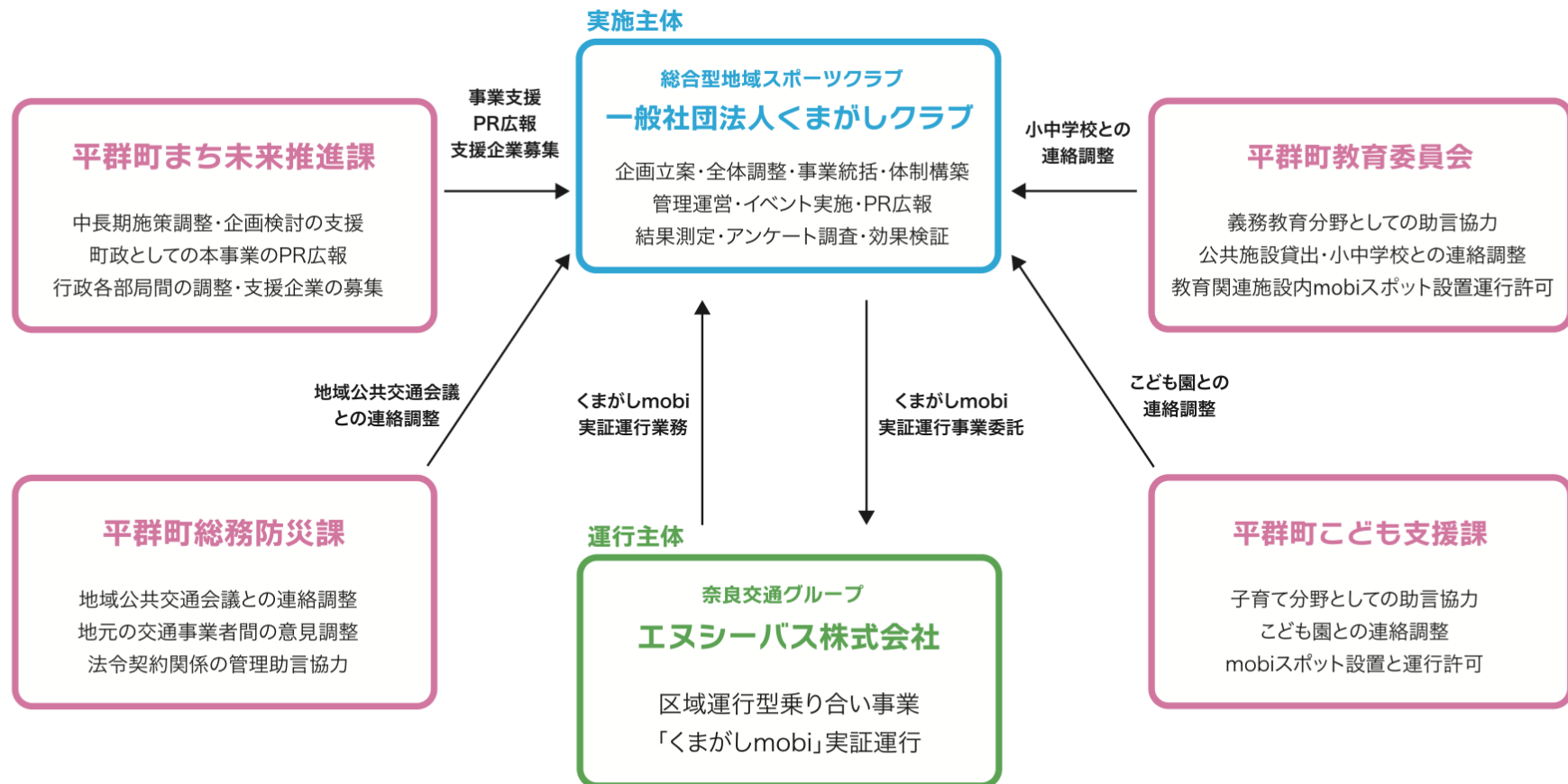
くまがしmobi

教育 × 交通

事業の全体像・共創の仕組み

平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム

令和6年度



区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」実証運行

■ 共創分野「教育×交通」

平群町では「教育×交通」の共創分野をメインテーマに、行政=平群町行政、交通事業者=奈良交通グループエヌシーバス株式会社、総合型地域スポーツクラブ=一般社団法人くまがしクラブの共創・連携・協働により、共創プラットフォーム名「平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム」として、くまがしmobi実証運行を実施。

平群町行政においては、教育担当部局の教育委員会だけでなく、総合計画・人口対策・シティプロモーションの促進部局のまち未来推進課、地域公共交通の担当部局である総務防災課、子育て部局の子ども支援課と複数の部局にわたってプラットフォームに参画。くまがしmobi実証運行の運行主体は地域の路線バスを運行している奈良交通グループエヌシーバス株式会社が担い、地域住民が会員となって法人化・自主運営している平群町総合型地域スポーツクラブ一般社団法人くまがしクラブが実施主体としてくまがしmobi実証運行事業を実施。



■ くまがしmobi実証運行ルート



中学生のバス送迎（学校部活動・地域クラブ活動）

中学生の放課後部活動・地域クラブ活動を対象として「くまがしmobi」によるバス送迎の実証運行を実施。運行回数は水曜日と金曜日の全22回。

迎えの便は、mobiセンター（総合スポーツセンター内）を出発して平群中学校へ。中学校にて中学生が乗車した後、放課後部活動・地域クラブ活動の実施場所となる総合スポーツセンターまで運行。帰りの便は、mobiセンターを出発して旧中央公民館前・若葉台集会所前・東山駅・竜田川駅など、平群町内全22ヶ所のmobiスポットを約45分かけて大きく右回りするルートで運行。帰りの便数は放課後部活動終了後と地域クラブ活動終了後にそれぞれ1便ずつ合計2便を運行。

スマートフォンから出欠・乗車の有無・降車希望場所を事前入力できる保護者向けのアプリを導入して情報をアプリにて管理。中学生に一人ずつICカードを配布し、バス乗降時にICカードリーダーにタッチすると保護者のスマートフォンへ乗降情報が届く通知システムを導入。mobiセンターでは、GPSバスロケーションを導入してバス運行位置情報をリアルタイムで管理し、バスに搭載した車載型IP通信機でmobiセンターオペレーターと運行バス間でIP無線通信を行い様々な状況に即時対応。



小学生のバス送迎（放課後活動・アフタースクール）



町内小学生の放課後活動・アフタースクールを対象として「くまがしmobi」によるバス送迎の実証運行を実施。運行回数は水曜日と金曜日の全22回。

迎えの便は、mobiセンターを出発して平群小学校・平群北小学校へ。子どもたちが乗車した後は活動場所となる総合スポーツセンターまで運行。帰りの便のルートは中学生のバス送迎と同様に運行実施。

ICカード・保護者向けスマホアプリ導入・GPS管理・IP無線通信等については中学生のバス送迎と同様に実施。

実証運行イベント（すぼフェスMaaS）

2024年11月17日(日)、平群町スポーツフェスティバル2024(主催:教育委員会)の開催に合わせて、くまがしmobi実証運行イベント『すぼフェスMaaS』と題してくまがしmobiによる1day無料回遊バスを実施。

行き3便は平群町内の各mobiスポットをまわって平群町スポーツフェスティバル2024の開催場所である総合スポーツセンターを目的地として、帰り2便は総合スポーツセンターを出発地として、当日は全5便を運行。

当日の運行は、くまがしmobi実証運行事業の運行主体である奈良交通グループエヌシーバス株式会社が運行。

また、幼児・小学生を対象にバス運転手の制服を着て運転席に座って記念撮影できる「キッズ運転手記念撮影会」を実施。乗降場所付近に設置したアンケートブースでは地域住民を対象に地域公共交通に関するくまがしmobi実証運行アンケートを実施。



地域住民向け実証運行事業内容説明会

地域住民向け実証運行事業内容説明会を全3回実施。会場は平群町総合文化センター内くまがしホールにて。



パネル展示

実証運行のパネル展示を実施



くまがしmobi実証運行

行政

交通事業者

総合型地域スポーツクラブ

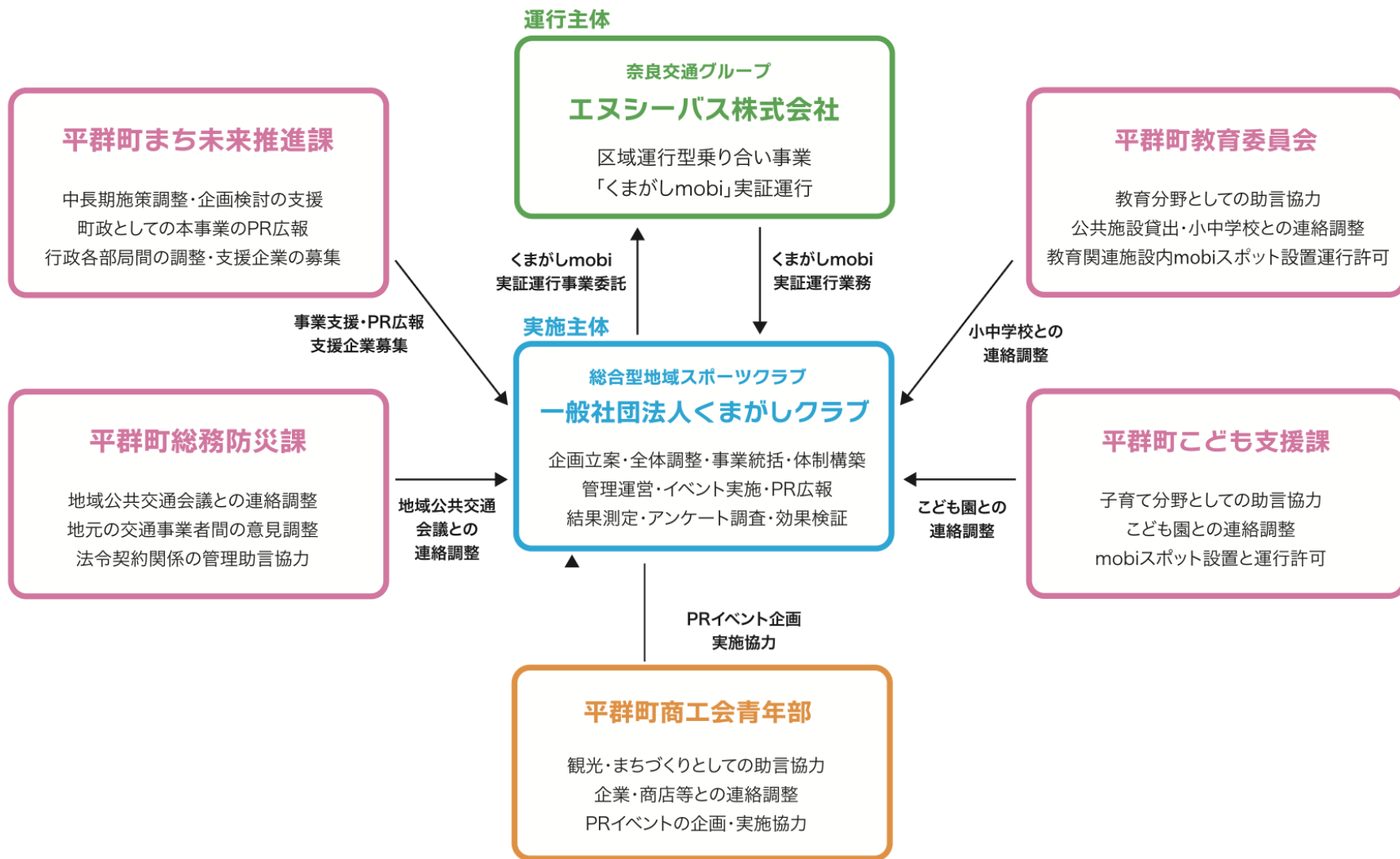
平群町 × エヌシーバス × くまがしクラブ

令和6年度は「教育×交通」をメインテーマにくまがしmobi実証運行を実施
令和7年度は「教育・スポーツ・文化×交通」「こども・子育て×交通」「観光・まちづくり×交通」に多分野共創を拡充して『くまがしmobi実証運行』を実施予定

事業の全体像・共創の仕組み

平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム

令和7年度（前期）



区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」実証運行

■ 共創分野

「教育・スポーツ・文化×交通」「こども・子育て×交通」「観光×交通」

前年度の共創分野「教育×交通」から、令和7年度（前期）は「教育・スポーツ・文化×交通」「こども・子育て×交通」「観光×交通」へと共創分野を拡げて、平群町行政の全面協力の元、くまがしmobi実証事業の運行主体である交通事業者=奈良交通グループエヌシーバス株式会社、事業実施主体の総合型地域スポーツクラブ=一般社団法人くまがしクラブの共創・連携・協働により、共創プラットフォーム名「平群町こども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム」として、くまがしmobi実証運行を実施。また、共創プラットフォーム「平群町こども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム」には、平群町教育委員会・まち未来推進課・総務防災課・こども支援課・奈良交通グループエヌシーバス株式会社・平群町総合型地域スポーツクラブ=一般社団法人くまがしクラブが昨年に引き続き参画するとともに、観光・まちづくり分野として平群町商工会青年部も令和7年度（前期）より新たに参画。



■ くまがしmobi実証運行エリア

前年度の町内を45分かけて右回りする運行から、令和7年度は町内を南北2ルートに分けて運行時間の短縮と利便性の向上を図った。



中学生のバス送迎（学校部活動・地域クラブ活動）

中学生部活動・地域クラブ活動を対象として「くまがしmobi」によるバス送迎の実証運行を実施。前年度はバスケットボール部と卓球部を対象だったため、令和7年度はバレーボール部・野球部・ソフトテニス部・サッカー部・ハンドボール部の部活動を対象にバス運行を実施。

運行日については、前年度は（水）（金）の2曜日の運行だったところ、令和7年度前期は（水）（金）（土）の3曜日に拡大。（土）は地域住民の移動手段としても活用スタート。

前年の運行ルートは平群町内の各mobiスポットを約45分かけて大きく右回りするルートでの運行だったが、令和7年度は運行時間の短縮および利便性向上のため、町内を南北2ルートに分けてmobiスポットを増設して運行を実施。各運行に要する時間は25～35分。

前年度に引き続き出欠・乗車の有無・降車希望場所を事前入力できるアプリを導入して情報管理（中学生本人・保護者どちらもアプリ登録可能）。中学生に一人ずつくまがしmobi専用ICカードを配布し、バス乗降時にカードリーダーにタッチすると保護者のスマートフォンへ乗降情報が届く通知システムを導入。mobiセンターでは、GPSバスロケーションを導入してバス運行位置情報をリアルタイムで管理し、バスに搭載した車載型IP通信機でmobiセンターオペレーターと運行バス間でIP無線通信を行い様々な状況に即時対応。



幼児・小学生バス送迎（キッズアフタースクール・ジュニアアフタースクール）



こども園の幼児のキッズアフタースクール・小学生のジュニアアフタースクールを対象に、くまがしmobiによるバス送迎の実証運行を実施。運行日は（水）と（金）の2曜日。

迎えの便は、mobiセンターを出発して各こども園・小学校へ。乗車後は活動場所となる総合スポーツセンターまで運行。帰りの便のルートは中学生のバス送迎と同様に南北2ルートで町内各mobiスポットを運行。

ICカード・保護者向けスマホアプリ導入・GPS管理・IP無線通信等については中学生のバス送迎と同様に実施。

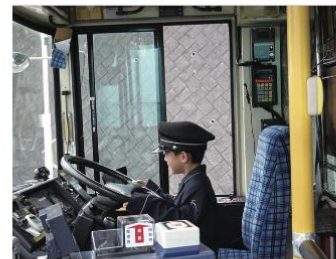
実証運行イベント（へぐり花火大会 1dayバス運行）

平群町商工会青年部との共創により、2025年9月13日（土）へぐり花火大会の開催に合わせて、くまがしmobi実証運行イベントとして1dayバス送迎を実施。実証運行イベントでの延べ乗車数は5,123名。

当日の運行は、くまがしmobi実証運行事業の運行主体である奈良交通グループエヌシーバス株式会社と地元交通事業者の大和観光交通株式会社が特別運行協力として、それぞれ4台ずつ合計8台でのバス運行を実施。

運行ルートは平群駅と総合スポーツセンター（テニスコート前駐車場）の間を3分～10分間隔で運行。

幼児・小学生を対象にバスの運転席に座って記念撮影できる「キッズ運転手記念撮影会」を、乗降場所付近に設置したアンケートブースでは地域住民を対象に地域公共交通に関するくまがしmobi実証運行アンケートを実施。



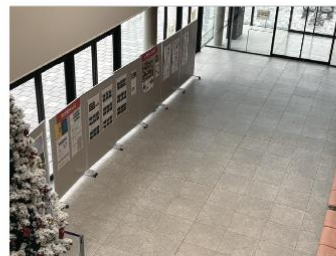
地域住民向け実証運行事業内容説明会

地域住民向け事業内容説明会を全3回実施。会場はくまがしホール、平群中学校等。



パネル展示

文化センター1Fロワイエにて実証運行のパネル展示を実施



くまがしmobi実証運行

行政

交通事業者

総合型地域スポーツクラブ

商工会青年部

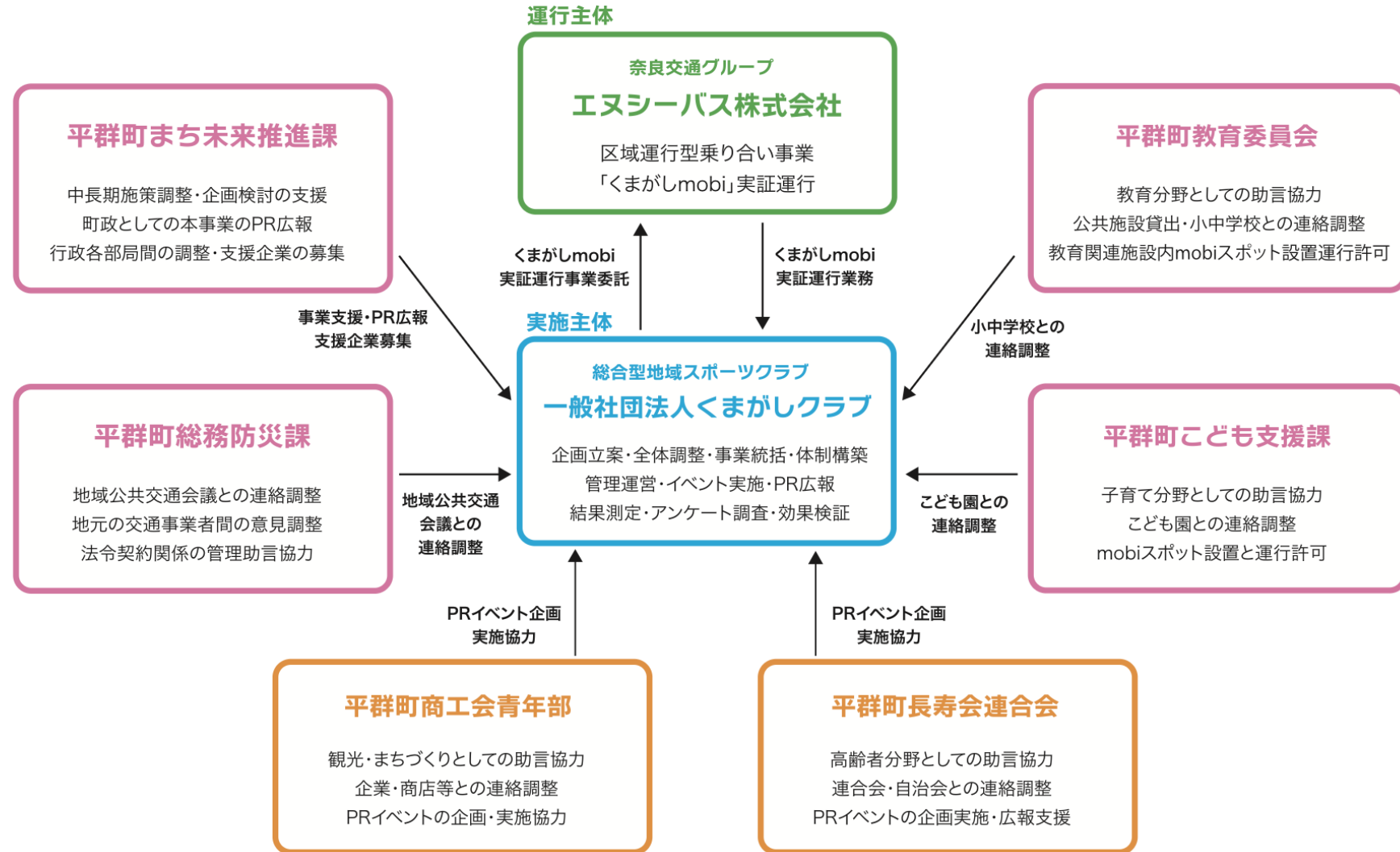
平群町 × エヌシーバス × くまがしクラブ × 平群町商工会青年部

令和6年度の「教育×交通」共創分野から令和7年度前期は「教育・スポーツ・文化×交通」「こども・子育て×交通」「観光・まちづくり×交通」に多分野共創を拡充して『くまがしmobi実証運行』を実施

事業の全体像・共創の仕組み

平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム

令和7年度（後期）



区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」実証運行

■ 共創分野

「教育・スポーツ・文化×交通」「こども・子育て×交通」

「観光×交通」「高齢者外出支援×交通」

くまがしmobi実証運行事業では、令和6年度は「教育×交通」分野を、令和7年度前期は「教育・スポーツ・文化×交通」「こども・子育て×交通」「観光×交通」分野を、そして令和7年度後期では「高齢者外出支援×交通」へ共創分野を拡げてくまがしmobi実証運行を実施。

共創プラットフォーム「平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム」では、令和7年度前期に引き続き、平群町教育委員会・まち未来推進課・総務防災課・子ども支援課・奈良交通グループエヌシーバス株式会社（運行主体）・平群町商工会青年部・平群町総合型地域スポーツクラブ一般社団法人くまがしクラブ（実施主体）が参画し、令和7年度後期からは平群町長寿会連合会が新たに参画。



■ くまがしmobi実証運行ルート

mobiスポット設置数を、令和6年度は22ヶ所、令和7年度前期は28ヶ所、令和7年度後期は34ヶ所に増設。



令和7年度（後期）

中学生のバス送迎（学校部活動・地域クラブ活動）

令和7年度後期では中学校部活動の地域展開とあわせて「くまがしmobi」によるバス送迎の実証運行を実施。令和7年度後期は、令和7年度前期に引き続きバレーボール部・野球部・ソフトテニス部・サッカー部・ハンドボール部の部活動を対象にバス運行を実施。（※令和6年度はバスケットボール部と卓球部を対象に実証運行を実施済）

運行日については、令和6年度は（水）（金）の2曜日を、令和7年度前期は（水）（金）（土）の3曜日を運行、令和7年度後期は（水）（木）（金）（土）の4曜日で実証運行。（※（木）（土）は地域住民の移動手段としても活用）

令和6年度の平群町内の各mobiスポットを約45分かけて大きく右回りするルートでの運行から、令和7年度前期以降は運行時間の短縮および利便性向上のため、町内を南北2ルートに分けてmobiスポットを増設して運行を実施。各運行に要する時間は25～35分。

令和6年度から引き続き出欠・乗車の有無・降車希望場所の情報管理アプリを導入（中学生本人・保護者どちらもアプリ登録可能）。中学生に一人ずつくまがしmobi専用ICカードを配布し、バス乗降時にカードリーダーにタッチすると保護者のスマートフォンへ乗降情報が届く通知システムを導入。mobiセンターでは、GPSでバス運行位置情報をリアルタイムで管理し、バスに搭載した車載型IP通信機でIP無線通信を行い様々な状況に即時対応。



幼児・小学生バス送迎（キッズアフタースクール・ジュニアアフタースクール）



こども園の幼児のキッズアフタースクール・小学生のジュニアアフタースクールを対象に、くまがしmobiによるバス送迎の実証運行を実施。運行日は（水）と（金）の2曜日。

迎えの便は、mobiセンターを出発して各こども園・小学校へ。乗車後は活動場所となる総合スポーツセンターまで運行。帰りの便のルートは南北2ルートで町内各mobiスポットを運行（最大3台同時運行）。

ICカード・保護者向けスマホアプリ導入・GPS管理・IP無線通信等については中学生のバス送迎と同様に実施。

実証運行イベント（高齢者会食サービス「ホッと食堂」1dayバス運行）

2026年2月25日（水）、平群町健康福祉センターでの高齢者会食サービス「ホッと食堂」（主催：社会福祉法人平群町社会福祉協議会、協力：平群町長寿会連合会）の開催に合わせて、くまがしmobi実証運行イベントとして1dayバス送迎を実施。

行きの便は平群町健康福祉センタープリズムへぐりを目的地として平群町内の各mobiスポットをまわって運行し、帰りの便は平群町健康福祉センター

プリズムへぐりを出発地として平群町内の各mobiスポットをまわって運行。

当日の運行は、くまがしmobi実証運行事業の運行主体である奈良交通グループエヌシーバス株式会社が運行。

単身高齢者の社会的孤立を防ぐ高齢者会食サービス「ホッと食堂」の開催に合わせた『高齢者外出支援×交通』分野としてのくまがしmobi実証運行イベントを実施。



地域住民向け実証運行事業内容説明会

事業内容説明会を全2回実施。会場は平群町健康福祉センタープリズムへぐり、平群町総合文化センターくまがしホールにて。



パネル展示

くまがしmobiパネル展示を実施



くまがしmobi実証運行
K u m a g a s h i m o b i

平群町こども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム

行政 交通事業者 総合型地域スポーツクラブ 商工会青年部 長寿会連合会
平群町 × エヌシーバス × くまがしクラブ × 平群町商工会青年部 × 平群町長寿会連合会

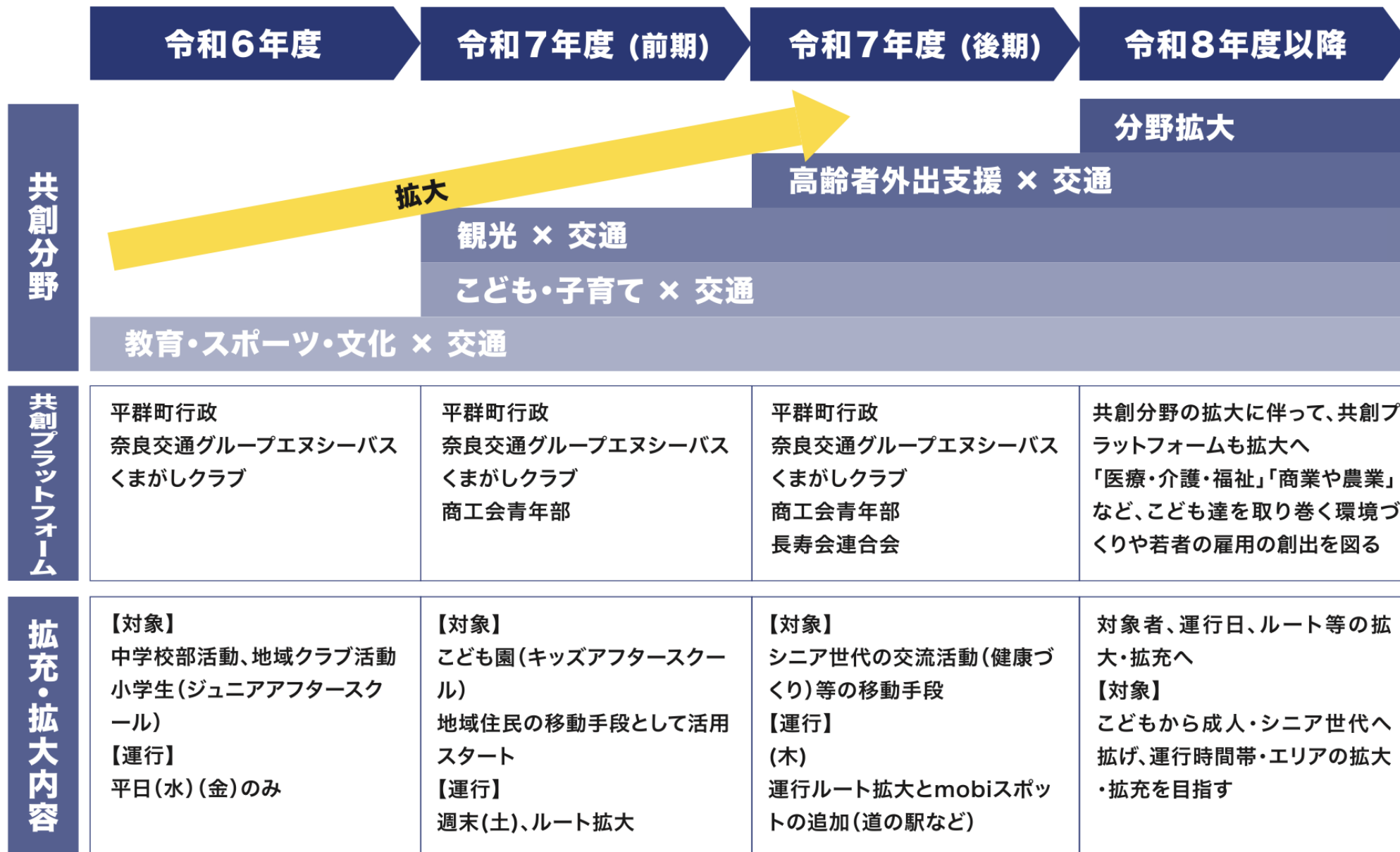
HEGURI



Kumagashi mobi

平群町こども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム

くまがしmobi実証運行事業 これまでの取組の発展について





くまがし mobi

公共ライドシェア

実証運行

K u m a g a s h i m o b i i n H E G U R I

国土交通省「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(令和8年度)

令和8年度 くまがしmobi全面展開プロジェクト

公共ライドシェア実証運行

3つのポイント

- **広域展開**（平群町、三郷町、安堵町、生駒市）
- **西山間エリア**（ダウンサイジングによるユーザビリティの向上）
- **地域人材＆車両のフル活用**

H E G U R I



K u m a g a s h i m o b i